

第46回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：令和元年5月20日(月)11:00～12:00
- 場所：中央合同庁舎8号館10階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：デジタルガバメント推進に必要な、デジタル時代の Citizen Experience の向上
- 招へい者：Kelly Olson(ケリーオルソン)アドビシステムズ株式会社
- 出席者：平井国務大臣、幸田内閣府審議官、三輪政府CIO、三角審議官(IT)、赤谷補佐(IT)、高田局長(宇宙)、新田参事官(科技)、池田企画官(科技)、小林上席調査員(科技)、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. ケリー氏からの説明

- 現在の国・地方におけるデジタル化の取組をサービス利用者の国民目線で見ると、各府省や地方自治体のウェブサイトについてデザインに一貫性がないなど、国民が享受するデジタルサービスの体験が不平等になっている。今後のデジタル・ガバメントの推進に当たっては、デジタル・エクスペリエンスを国民目線で設計することが重要。
- 米国におけるデジタル・ガバメントの取組においても、予算要求のサイクルや、サイロ化された知見の統合、デジタル人材の育成など、様々な苦難があった。ステークホルダー全体で連携して検討し、利用者目線でのサービス設計を行うことに腐心した。このような経験を踏まえ、日本においてもデジタル・エクスペリエンスの質の向上に貢献して参りたい。

3. 質疑応答・議論

- 米国の経験は日本も全く同様の問題意識を持っており、「デジタル・ガバメント実行計画」に明記された「サービス設計 12 箇条」でも当該問題意識を踏まえた記述を行っている、との意見があった。
- 既存の紙での行政手続をどのようにしてデジタル化するかということについては、対国民の部分だけではなく、行政の内部でのデータの在り方も含めたエンドツーエンドで考えることが必要である、との意見があった。
- 今後はサービスの利用者がウェブ上でどのような動線をとっているのかを分析し、マイナポータルも含めたワンストップで便利なサービスの在り方を考えていかなければならない、との意見があった

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)